

文科省通知

入試・学習内容を配慮

現在も新型コロナウイルス感染拡大のための休校措置が続いています。3ヶ月という長い休校期間により学習への不安が高まっています。文科科学省は5月14日に高校入試、15日に最終学年以外の学習内容について、全国の教育委員会に通知を出しました。

高校入試は
出題範囲等を工夫

文科科学省は、新型コロナウイルス感染拡大による休校が長期化した生徒が不利にならないよう、出題範囲を工夫するなど配慮を求めました。

通知には、中学3年での学びカリキュラムからの出題に際し、「地域の中学校の学習状況を踏まえ、適切な範囲や内容となるよう設定する」などと例示しました。休校が長期化する都道府県の生徒が、親の転勤などで休校の長期化しなかった地域の入試に臨む生徒がいた場合、面接や作文なども用いて選考するなどの方策もあげました。

内申書は、出席日数や

女性部 健康アンケート

女性部では、2019年度に「健康アンケート」を取りました。結果を連載の形で報告しています。

2. 妊娠、出産について

【質問1】職場で最近、妊娠・出産された方は

いらっしゃるでしょうか？

□はい・・・69% □いいえ・・・25%

□(育休中で)分からない...6%

【質問2】最近、妊娠・出産をされましたか？

□はい・・・13% □いいえ・・・88%

【質問3】【質問2】で「はい」と答えられた方にお聞きします。次の諸権利は取れていますか？

ア 通院のための休暇を課業中に取りましたか？

→100%の方が取りました。

イ 通勤緩和措置(朝夕計1時間以内)を取りましたか？

→100%の方が取りました。

ウ 妊娠障害(つわり等)休暇を取りましたか？

→50%の方は取りました。

エ 産休、育休は希望通り取れましたか？

→50%の方は取れました。

【質問4】妊娠中に体育実技軽減以外で、軽減措置がほしいと思ったことがあればお書きください。

→今回は、ご意見はありませんでした。

妊娠、出産に伴う休暇などの制度は、組合の運動により少しずつ改善・拡充されてきました。母子ともに健やかで働き続けられるよう、制度を積極的に利用していただきたいと思います。気兼ねなく休暇などが取得できる職場環境(教職員増など)も大事ですね。

学習評価の内容の記載、諸活動の記載が少なく、とで不利益を被らないよう求めました。

この通知は国公立、私

次年度
繰り越し容認

翌日15日には最終学年の小6、中3、高3以外

の学習内容について、学習内容の一部を次年度以降に繰り越すことを特例で認めると通知しました。「原則、年度内で必要な指導を終えるように最大の努力を行っていただくのが大前提」とした上で、夏・冬休みの短縮、土曜授業の実施などによって授業時間を確保し、学習指導要領で学年ごとに定められた学習内容を「次学年または次々学年に移して教育課程を編成する」ことが可能となりました。

教育予算をふやして(つ) かがやけ! みんなのえがお

教育の質向上! 35人学級の創設! せんせいやすそう!

教育費削減の抜本的改善を
「17年度からの教育費削減」ではなく、
「やばい! せんせいやすそう!」

学校現場の負担軽減に「17年度からの教育費削減」ではなく、
「やばい! せんせいやすそう!」

国への責任で少人数学級の創設を

教育予算をOECD諸国に増やせば可能

全日本教職員組合(全教) / 教職共同連合 / 子ども未来センター
〒102-0084 東京都千代田区2-2-1 全教東京文化会館 5F
TEL: 03-5521-0123 FAX: 03-5521-0124 e-mail: omk@omk.or.jp

笑顔署名に「協力ください」

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう!